

事例 1：研修会で利用し、県内の状況・課題共有のきっかけに

<p>1. 活用方法</p>	<p>県内のリーダーが集う研修会で活用。</p> <p>(1) 県内の各ブロックのリーダーが集まる<u>研修会で、資料として配布。</u></p> <p>(2) グループに分かれて、パンフレットをもとに、県内の各ブロックにおける「<u>子どもの貧困</u>」に関する<u>状況や意見の交換</u>を行う。</p> <p>(3) それぞれのグループが<u>意見交換の内容を発表し、各園の状況を共有</u>する。</p>
<p>2. 活用したことによる変化</p>	<p>【個人の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの貧困についての捉え方が変わり、意識もあがった。 ○ 保護者の置かれている現状について話し合い、<u>保護者の困り感を受けとめ、どう支援していくのか、前向きに考えるようになった。</u> <p>【組織としての変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもも保護者も安心できる場所づくりとは、必要な支援とは等、<u>課題を共有することで、各支部が組織として考えることにつながった。</u>
<p>3. 活用した感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配布するだけでは末端まで伝わらない現状を常に感じている。今回、<u>パンフレットをもとに話し合いの場をもったことで、貧困に対する意識が深まった。</u> ○ 今後もどのように資料を活用していくのか、知恵を出し合って工夫していきたい。